

大河ドラマの 舞台に行きたい！

この旅のポイント

- ✓ ドラマの世界にたっぷり浸れる
- ✓ 交通も便利でゆとりある旅ができる



赤い装束で戦（いくさ）に臨んだ井伊氏の「赤備え」になぞらえ、赤く飾りつけされた気賀駅



まずはここ、「おんな城主直虎 大河ドラマ館」

衣装や小道具などが数多く展示され、大河ドラマの世界を満喫できます。浜松市内の口ケ地を紹介する映像も

今年の大河ドラマ「おんな城主直虎」は、女領主となつて家名を存続させた井伊直虎が主人公。浜松市はその舞台のひとつで、直虎の本拠地だった北区井伊谷には、徒歩でめぐる範囲に見どころが点在しています。公共交通の便も比較的良好なので、ひとり旅にはうってつけの場所です。

まずは新所原駅から天竜浜名湖鉄道に乗り、浜名湖沿いをのんびり走るローカル線の旅を40分ほど楽しんで気分を盛り上げ、気賀駅で下車します。駅のすぐそば、来年1月まで開設中の「おんな城主直虎 大河ドラマ館」に立ち（へ）

寄り、直虎のことをざっと頭に入れたら、井伊谷めぐりのスタートです。

向かうのは、この旅最大の

見どころ・龍潭寺。平安時代

からこの地を拠点とした井伊

家の菩提寺です。気賀駅前か

らバスを利用すれば便利ですが、歩いて40分ほどな（へ）

静岡県浜松市



4



2



3

井伊家ゆかりの名刹・龍潭寺

国の名勝に指定されている庭園（1）が有名。5月にはサツキが彩ります。井伊家歴代の墓所（2）があり、屋根瓦にも井伊家の紋があしらわれています（3）。次郎法師（直虎）の名が記された、寄進状（4）を所蔵



1

救心



救心で、旅を楽しく。

飛行機やバス、列車などの移動で長い時間同じ姿勢でいると、全身の血液循環が悪くなりやすく、また旅先では階段などで息が切れることがあります。そんな時には「救心」。自然の生薬が全身の血流をよくし、自律神経のバランスを整えて、どうきや息切れ、めまいや立ちくらみなどの気につけによく効きます。さあ、「救心」でよい旅を。



どうき・息切れ・気つけ

第2類
医薬品

30粒・60粒・120粒・310粒・630粒

「血流いきいき読本・気血読本」進呈

ハガキに①平住所②氏名③年齢を明記のうえ、弊社お客様相談室JIC係まで。いただいた情報は資料発送以外では使用しません。ただし、個人を特定出来ない状態で統計データとして使用することがあります。

救心

検索



救心製薬株式会社

〒166-8533 東京都杉並区和田1-21-7

井伊谷城跡から城主の気分で眺める

標高約115メートルの山頂に井伊氏が築いた山城。
展望台からは、遠く浜松市街まで見渡せます。
山麓には井伊氏の居館がありました



ので、天気がよければハイキング気分です歩くのもいいでしょう。気分しだいでルートを変えられるのも、自分だけの旅ならではの。

直虎は戦国時代、井伊家22代・直盛の一人娘として生まれます。ゆくゆくは直盛の従兄弟の亀之丞（のちの直親）と結婚して、井伊家を支えてゆくはずでした。しかし亀之丞の父と叔父が、敵対していた今川氏に殺され、亀之丞も命を狙われたため、ひそかに信州へと逃げます。その経緯を知らされなかった直虎は、許婚の突然の不在に悲しみ、やがて出家を決意。仏門をく

直虎も遊んだ？

天白磐座遺跡

井伊家の氏神である渭伊（い）神社の本殿裏には、古代の祭祀遺跡が。巨石群は迫力満点で、パワースポットとしても人気



「共保公出生の井戸」は井伊家の聖地

寛弘7年（1010）、井伊家初代の共保がこの井戸から生まれたと伝わり、白壁の塀に囲まれて大切に守られています

※花の見頃はその年の天候等により変動しますので、詳しくは現地にご確認ください。

ぐり、「次郎法師」の名を与えられたのが龍潭寺で、この南溪和尚は、没落の危機にあった井伊家の再興を目指す直虎を支えたのです。

深い緑のなかに風格ある山門や本堂、井伊家歴代の墓所、大名茶人で作庭家の小堀遠州が手がけた庭園などが現れ、情緒たつぷり。直虎に思いを馳せていると、時が経つのも忘れそうです。

参拝後は、井伊谷の里を歩いてひとめぐり。幼き直虎が、土地のこともたちと遊んだシーンのロケが行なわれた天白磐座遺跡、町の北側にある井伊谷城跡など、心地よい場所がいくつもあり飽きません。

町なかの「御菓子司 すぎや」でおみやげに銘菓を入手したら、バスで浜松市街方面に向かい、最後に浜松城へ。かつての許婚の息子・虎松は、直虎の後見により城主の家康に仕え、以後、井伊家は徳川家の重要な家臣となり繁栄します。家康の出世城として知られる浜松城は、井伊家にとっても出世城だったのです。

井伊家の2つの紋とキャラクターをあしらった絵馬が人気。龍潭寺にて



若き日の家康の居城、浜松城

元龜元年(1570)に徳川家康が築城。その5年後、虎松(のちの井伊家24代・直政)がここで、小姓(こしょう)として家康に仕えました



龍潭寺の御用達「御菓子司 すぎや」

誕生から約40年、地元で愛されている「郷土史策 いいさま」(写真) 1個75円が名物。ほどよい甘さのこしあんをカステラ生地で包み、焼き上げています



おてかけMEMO

おんな城主 直虎 大河ドラマ館 平成30年1月14日までの9時～16時30分、無休。入館料600円。東海道本線新所原駅から天竜浜名湖鉄道約37分の気賀駅下車すぐ。または東海道新幹線浜松駅から気賀・三ヶ日方面行き遠鉄(えんてつ)バス約52分の気賀駅下車すぐ。☎053・453・2124

龍潭寺 9時～16時30分、8月15日・12月22～27日休。拝観料500円。気賀駅から龍潭寺行き遠鉄バス約13分の終点下車すぐ。☎053・542・0480

天白磐座遺跡 見学自由。浜松駅から奥山行き遠鉄バス約49分の神宮寺下車、徒歩約5分

井伊谷城跡 見学自由。浜松駅から奥山行き遠鉄バス約56分の井伊谷下車、徒歩約15分

共保公出生の井戸 見学自由。龍潭寺バス停から徒歩約1分
御菓子司 すぎや 8時30分～18時30分、水曜休(祝日の場合は営業)。井伊谷バス停から徒歩約2分。☎053・542・0104

浜松城 8時30分～16時20分、年末休。入城料200円。浜松駅から気賀・三ヶ日方面行き遠鉄バス約5分の市役所南下車、徒歩約6分。☎053・453・3872

観光の問い合わせ／

浜松市観光インフォメーションセンター ☎053・452・1634

奥浜名湖観光協会 ☎053・522・4720

